

## 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		活動内容によって、学習室等も使い工夫出来ている。
	②	職員の配置数は適切であるか	9		利用人数に合わせて職員配置が出来ている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9		バリアフリーについては、現在必要な児童がいないので問題は無い。 特性や状況に応じて、扉を閉めて音の遮断や、パーテーションを用いて空間を作り、合理的配慮をしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9		子供と共に掃除を行ったり、毎日の清掃・消毒リストがあり清潔に保たれている。 学習や活動をする時はテーブルを出し、それ以外はゆっくりと過ごせる様に環境を整えている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9		職員会議や朝礼等で意見交換や共通理解を深めるようにしている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		評価表を基に改善を重ね、アンケート調査や定期的な面談を行い、業務改善に努めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9		自己評価はHPで開示しており、行事のたびに事業所の活動報告としても公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	1	第三者委員会からの評価は検討中であるが、関係各所のご意見やアドバイスを業務改善に繋げている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		毎月1回実施されていて、とても充実した研修となっている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9		しっかりとアセスメントを行って計画書を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		使用していると認識している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9		適切に設定されていると認識している
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9		計画に基づいて支援している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9		毎回職員で話し合い立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		保護者様や児童にアンケートを取り固定化しないよう工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	9		それぞれの児童に合わせて作成していると認識している。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		毎日、サービス提供開始前に朝礼を行い、申し送りや確認事項を共有している。 気になる事や役割等しっかり話し合い確認している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		職員同士で話し合いや、LINE等で情報共有を行い気になる点は記録を行い今後の注意点として共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		記録をしっかりと行い、次の支援に繋げている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9		きちんとモニタリングし、出来るようになった点、次の課題点などを見出していると認識している。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		管理者、児発管が毎回参画している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9		該当する家族がいれば連携していると、認識している。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	1	現在ははないが、支援する事になれば、連携がとれる認識である。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	1	現在ははないが、支援する事になれば、連携がとれる認識である。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	対称児童を受け入れる場合は、情報共有していると認識している。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		必要な場合等は、情報共有を行っている、認識している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9		機会がある場合は、助言を受けたり研修を受けたりしていると、認識している。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4	設定された場面は少ないが、活動等で公共の施設を利用する事も多々あり関わりを持つ事はある。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	4	コロナ禍もあり積極的な参加は無いが機会があれば参加出来る体制である。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		様々なツールを使って積極的にコミュニケーションをとるよう心掛けている。
保護者への	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9		ご相談に応じ対応している。 保護者会を開催し、ビジョントレーニングを紹介した。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		丁寧に説明していると認識している。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9		支援計画書の内容はその都度面談を行い、保護者に向けて分かりやすく説明し、ご納得頂いて同意を得ていると認識している。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		相談があった際にはきちんと助言や支援を行っている。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9		保護者会を開催し、連携を必要としている場合は、支援している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		定期的に保護者会や面談などを行っており、気になる点は随時相談を受け迅速な対応を心がけている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		月に一度の空通信や、HPのブログ等で発信している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9		各々が十分、気を付けていると認識している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		児童に合わせた配慮を行い周囲へも丁寧に説明している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	1	事業所の農園で育てている野菜を地域の薬局様で販売する催しを開き活動内容等、広めて頂いている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9		訓練は年2回きちんと行い、マニュアル等も変更があれば随時保護者さまに配布している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		火災だけでなく、風水害等や地震の訓練も行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9		服薬の変更や管理においても保護者様と連携し、内容は全職員が把握出来るようになっている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9		医師の指示書を必要とするお子様は在籍していないが、アレルギー等は親御さんから聞き取り記録し、きちんと対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		ヒヤリハットの事例集を作成、共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		年に一度の虐待研修を毎年行っている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9		これまで身体拘束実例は一度もなく、対象となり得る児童の在籍はないが、どのような場面で必要になるのか等、また対応方法などを認識し支援に努めている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。  
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。